

No.207
2018
2/24



はちおうじ

JR東労組
八王子地本

八地申第15号「平成30年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ

第2回交渉
2月21日

第5項

組合

立川運転区は日勤2行路減・標準数3名減、立川車掌区は1行路減・標準数2名減となっているが、その根拠を具体的に示すこと。

職場では、休日出勤や長時間労働が発生しており、余裕がない状況である。健康・ゆとり・働きがいの持てる運用をするべきだ。

会社

年間の業務量を根底に目安として算出している。また全体的な業務量とは、行路・波動・年休・特休・公休のことをいう。

交番表は基本超過勤務前提で作られているものではない。しかし、行路を見ると労働時間Aが上限ぎりぎりになっているのは認識している。労働者の働き易さ、会社の考える効率性2つの相対するものがあるが、考慮しながら運用を考えている。

第6項

組合

波動要員の考え方を示すこと。また、臨時列車の実態に合わせて波動要員を確保すること。

波動の要員の数をなぜ示せないのか。

波動の要員が無い職場はあるのか。

会社

臨時行路に必要な要員は、臨時行路の数の実績を見て算出している。臨時列車の本数ではない。

波動単体の要員の数という認識ではなく、仕事量がどれくらいあるのかを積み上げて出すものである。行路・波動の行路数を平均化して算出しているものであり、単体で数字を示すことは出来ない。

どの職場も臨時列車を担当しているので、八王子支社管内の乗務員区で、「波動要員0」と言う職場はない。

**業務量に見合った適正な要員配置がなされていないことが明らかに！
現場の声を反映させ、より良い行路をつくり上げていく事を確認！！**

第7項

組合

E351系で運用されているライナーがE257系9両・11両に置き換えられ定員が減るが現行の乗車率を示すこと。

ライナー券を買わないで乗り込む旅客が絶えない中で対策は考えているのか。

車両の置き換えで発売枚数はどうなるのか。

会社

中央ライナー2号は7割、7号は6割強、9号は5割であり、E257系9両・11両に置き換えても運用できると考えている。

現状対策は行っていない。今後車内放送や駅の案内などで徹底していく考えである。

駅での発売枚数は変わらない。駅ネットでの販売枚数から減少した席数分減らして販売する。

**乗車率だけで判断せず、地域の声が反映された
便利性の高い輸送形態を確保するため、検証することを確認！！**

**職場の実態に即した業務形態を
組合員の方で創り出そう！！**